

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
城下町周辺地区

令和 8 年 3 月

千葉県佐倉市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標 1	図書館の利用者数	人	42,500	47,000	60,180	確定 見込み ●	○	あり なし	54,505	R7年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	複合施設として整備したこと、駐車場の利便性が向上したことから、目標値を上回る値となり、まちの賑わいが向上し、十分な事業効果が生じていると考える。
指標 2	子育て世代活動支援センター利用者数	人	—	21,000	21,892	確定 見込み ●	○	あり なし	21,609	R7年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値を上回る値となり、図書館に併設された複合施設の中で、子育て世代の交流の場や相談事業、託児など、地域の交流拠点として機能していると考えられる。
指標 3	地域交流センターを利用するイベントの開催数	回	13回	25回	25	確定 見込み ●	○	あり なし	31	R7年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	複合施設として整備したこと、駐車場の利便性が向上したことから、目標値を達成でき、地域の交流拠点として機能していると考えられる。
指標 4	武家屋敷来訪者数	人	19,500	22,500	23,874	確定 見込み ●	○	あり なし	24,489	R7年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	回遊性を高める路面美装化により、来訪者の武家屋敷への誘導性及び安全性が向上したことから、目標値を達成でき、まちの賑わいが向上し、十分な事業効果が生じていると考える。
指標 5						確定 見込み		あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標 1					確定 見込み				R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標 2					確定 見込み				R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標 3					確定 見込み				R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・ 成果を持続させるために 行う方策	整備した施設の利用促進・効率的な維持管理	・きめ細かな図書館サービスの提供、各種ワークショップや啓発イベント等の実施、子育て相談や託児対応などの実施。	・複合施設(子育て世代活動支援センター、地域交流センター、観光交流センター、図書館)であることを生かした利用促進を図れた。	・公園用地として取得した城址公園田町門跡広場については、今後、Park-PFIを活用した施設整備を行い、一層の利用促進を図る予定。
	既存の組織を活用した多様な関係者の連携強化	・覚書を締結した地域組織をはじめとする団体等とのつながりを生かし、定期的なイベントの開催。 ・新町地区における建築行為等に関する、景観アドバイザー(外部組織)との協議。	・城下町周辺地区における賑わいの創出、官民連携強化につながった。 ・城下町周辺地区における歴史的景観の保全につながった。	
改善策 ・ まちづくりの目標を達成するための改善策 ・ 残された課題・新たな課題への対応策 ・ その他 必要な改善策	子育て機能が充実した複合施設の更なる活用	・夏祭りやハロウィン、クリスマスなど各種子育てイベントの開催。 ・市立美術館等の周辺公共施設と情報共有。	・子育て世帯の利用促進につながった。	・利用者に飽きられないために、イベントのブラッシュアップが必要。
	日常的に憩い・くつろぐことができる場や食事や買い物を楽しめる場の不足	・複合施設内に併設されたカフェの運営を継続し、飲食ができる場を提供。 ・社会実験「タマルバ」の中で、空き家・空き店舗等を実行委員会が借りて出店することに成功し、一部については月一回程度の定期利用化を推進中。	・城下町周辺地区における店舗の維持・確保に寄与し、当該地区の魅力度上昇につながった。	・旧今井家住宅を活用した飲食店が令和8年2月に開店し、旧平井家住宅については、来年度に活用事業者を公募する等、古民家を活用した事業を実施予定。 ・空き店舗の活用については、改修等に必要な資金への支援等が必要。
	第2駐車場への速やかな誘導 駐車場等のアクセス面の更なる改善	・拠点内循環バス継続のため、運行事業者への補助金の交付。	・バスの運行を継続でき、城下町周辺地区における公共交通の維持につながった。	・バスの利用率の上昇及び採算性の向上。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項